

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成25年7月24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） カルビー株式会社 代表 取締役社長 伊藤 秀二 電話 03 - 5220 - 6222
環境マネジメントシステムの名称	カルビーグループ環境マネジメント (独自のシステム)	
適用範囲	カルビーグループ会社の事業場(本社、工場、営業所、事務所を含み、以下「事業場」という。)	
導入年月日	2010年 4月 1日	
認証番号		
基本方針	環境活動方針と4本柱 持続可能な未来を実現すべく、企業の継続的存続と社会的責任遂行のために4本柱で活動する ①環境マネジメント ②省エネ・省資源 ③コミュニケーション ④資源循環	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	全社目標 ①CO2排出量 2009年度を基準年度として、総排出量または、原単位(売上高ベース)で、2020年度に11%(年率1%)削減する。ただし、カルビー関連工場分を対象とする。 ②使用水量 ……現在検討中 ③廃棄物量 ……現在検討中  ただし、当工場においては、原単位の毎年1%削減	
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー (CO2) ……ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し 廃棄物排出量の削減 ……不良製品の削減	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー (CO2) ……ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し、蒸気配管の保温、その他の無駄な運転時間の削減 廃棄物排出量の削減 ……不良製品の削減	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画以上に取組むことができている。 前々年までの3ヵ年計画で基準年度比で生産量は増加傾向にあり、それに伴ってエネルギー使用量も増加しているが、生産効率の改善によって生産量が増加した割にはエネルギー使用量は微増で温室効果ガスの排出量増加を抑えている	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1年に1回確認を行っている。 当工場においては、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回、検討している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。